

板橋 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ

教科： 教科 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組
教科担当者： (1・3・5 組：川崎) (2, 7 組：大井) (4, 6 組：大久保)
使用教科書： (PANORAMA English Communication 1)

教科 教科 外国語	の目標：
【知識及び技能】	4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につける。また、学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	場面、目的、状況に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合う。また、聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する。
【学びに向かう力、人間性等】	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する。また、言語やその背景にある文化に対する関心を持って自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることが出来る力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 現在形・過去形、進行形、SV0。またそれらをもとにことわざについて、話し手・書き手の意図を捉えたり、話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 世界のことわざについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ことわざについて話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 世界各地の特徴的なことわざについて理解を深め、自分の好きなことわざについて話したり書いたりして伝えようとする。	・教材 授業用ワークシート 単語テスト 教科書 Workbook ・一人1台端末の活用 辞書アプリ	○	○	○	○	○	単語学習ワークシート 内容に関するワークシート ○リスニング問題 ○ライティング活動 ○スピーキング活動（やり取り・発表） ○リーディング 文法学習についてノートにまとめ提出 Workbookの問題を解き提出	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	B 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 助動詞、受け身、助動詞のついた受け身。またそれらをもとに写真家・岩合光昭さんの生き方や考え方について、話し手・書き手の意図を捉えたり、話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 写真家・岩合光昭さんの生き方や考え方について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きな動物について話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 人間は動物から学ぶべきだという考えについて理解を深め、その意見に対して自分の考えを話したり書いたりして伝えようとする。	・教材 授業用ワークシート 単語テスト 教科書 Workbook ・一人1台端末の活用 辞書アプリ	○	○	○	○	○	単語学習ワークシート 内容に関するワークシート ○リスニング問題 ○ライティング活動 ○スピーキング活動（やり取り・発表） ○リーディング 文法学習についてノートにまとめ提出 Workbookの問題を解き提出	○	○	○	12
	C 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 動名詞、to不定詞の名詞的、形容詞的、副詞的用法。またそれらをもとに高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について、話し手・書き手の意図を捉えたり、話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、宇宙で食べてみたい日本の食べ物について話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙食の特徴と高校生の創意工夫について理解を深め、その意見に対して自分の考えを話したり書いたりして伝えようとする。	・教材 授業用ワークシート 単語テスト 教科書 Workbook ・一人1台端末の活用 辞書アプリ	○	○	○	○	○	単語学習ワークシート 内容に関するワークシート ○リスニング問題 ○ライティング活動 ○スピーキング活動（やり取り・発表） ○リーディング 文法学習についてノートにまとめ提出 Workbookの問題を解き提出	○	○	○	12
	定期考査								○	○		1
	D 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形。またそれらをもとに『クマのプーさん』に込められたメッセージについて、話し手・書き手の意図を捉えたり、話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 『クマのプーさん』に込められたメッセージについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、留学生に紹介したい日本の物語について話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 友情についての普遍的なメッセージについて理解を深め、その意見に対して自分の考えを話したり書いたりして伝えようとする。	・教材 授業用ワークシート 単語テスト 教科書 Workbook ・一人1台端末の活用 辞書アプリ	○	○	○	○	○	単語学習ワークシート 内容に関するワークシート ○リスニング問題 ○ライティング活動 ○スピーキング活動（やり取り・発表） ○リーディング 文法学習についてノートにまとめ提出 Workbookの問題を解き提出	○	○	○	10
	E 単元 Lesson 5 【知識及び技能】 関係代名詞、It is ... to 不定詞。またそれらをもとに消滅の危機にある世界の言語について 話し手・書き手の意図を捉えたり、話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。	・教材 授業用ワークシート 単語テスト						単語学習ワークシート 内容に関するワークシート ○リスニング問題 ○ライティング活動				

2 学 期	し、その言語の状況について理解を深め、その意見に対して自分の考えを話したり書いたりして伝えようとする。	教科書 Workbook ・一人1台端末の活用 辞書アプリ							○スピーキング活動（やり取り・発表） ○リーディング 文法学習についてノートにまとめ提出 Workbookの問題を解き提出				
			○	○	○	○	○			○	○	○	10
	定期考査									○	○		1

板橋 高等学校 令和8年度（1学年用）教科： 外国語 科目：論理・表現Ⅰ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組：川崎, 大井）（2組：川崎, 大久保）（3組：大久保, 大井）（4組：川崎, 大井）
（5組：川崎, 高橋）（6組：川崎, 大井）（7組：川崎, 高橋）

使用教科書：（ MY WAY Logic and ExpressionⅠ ）

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】 外国語の表現等を理解し、その知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 外国語で情報や考えを的確に理解し、これらを活用して適切に表現することができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化を理解し、配慮をしつつ主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声、句読法、語、連語及び慣用表現、文構造及び文法事項を理解し、その知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして自分自身の考えなどを適切に表現する力を養う。	ペアやグループで、やり取りを通して、情報を得たり考えを伝え合う中で、多様な考えを受け入れ、相手に配慮をしながら、受信と発信をして互いを高める姿勢を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価基準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 (や)	話 (発)	書					
1 学 期	Lesson 1 【知識及び技能】 現在形 (be動詞・一般動詞) の使い方を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 会話・発表の基本 【学びに向かう力、人間性等】 自己紹介、話しかける	・指導事項 be動詞と一般動詞の現在形の使い方 ・教材 教科書、ワークブック プリント ・一人1台端末の活用 等 語句調べ	○	○	○	○	○	・be動詞と一般動詞の現在形を用いた文を作れるか ・ノートに必要なことが書かれ、よくまとめられているか ・ペアやグループでの活動に積極的に取り組んでいるか ・発展課題に意欲的に取り組んでいるか	○	○	○	6
	Lesson 2 【知識及び技能】 過去形、進行形 【思考力、判断力、表現力等】 情報の追加、ライティングの基本 【学びに向かう力、人間性等】 学校や町の紹介	・指導事項 be動詞と一般動詞の過去形と進行形の使い方 ・教材 教科書、ワークブック プリント ・一人1台端末の活用 等 語句調べ	○	○	○	○	○	・be動詞と一般動詞の過去形を用いた文を作れるか ・進行形を使う場面が理解できているか ・ノートに必要なことが書かれ、よくまとめられているか ・ペアやグループでの活動に積極的に取り組んでいるか ・発展課題に意欲的に取り組んでいるか	○	○	○	6
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson 3 【知識及び技能】 未来表現、基本時制のまとめ 【思考力、判断力、表現力等】 予定についての会話 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手の注意を引く	・指導事項 未来表現 現在・過去・未来の表現のまとめ ・教材 教科書、ワークブック プリント ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	・現在形、過去形、未来の表現を用いた文を作れるか ・ノートに必要なことが書かれ、よくまとめられているか ・ペアやグループでの活動に積極的に取り組んでいるか ・発展課題に意欲的に取り組んでいるか	○	○	○	6
	Lesson 4 【知識及び技能】 現在完了形 【思考力、判断力、表現力等】 料理の注文、食文化のレポート 【学びに向かう力、人間性等】 例を挙げる	・指導事項 現在完了形の形と使い方 ・教材 教科書、ワークブック ・一人1台端末の活用 等 語句調べ	○	○	○	○	○	・現在完了形を用いた文を作れるか ・ノートに必要なことが書かれ、よくまとめられているか ・ペアやグループでの活動に積極的に取り組んでいるか ・発展課題に意欲的に取り組んでいるか	○	○	○	6
	定期考査			○			○		○	○		1
2 学 期	Lesson 5 【知識及び技能】 助動詞・受動態 【思考力、判断力、表現力等】 道案内、地域の特徴の発表 【学びに向かう力、人間性等】 詳しく説明する	・指導事項 助動詞の使い方 受動態の作り方と使い方 ・教材 教科書、ワークブック ・一人1台端末の活用 等 語句調べ	○	○	○	○	○	・助動詞を用いた文を作れるか ・能動態と受動態の概念が理解できていて、文が作れるか ・ノートに必要なことが書かれ、よくまとめられているか ・ペアやグループでの活動に積極的に取り組んでいるか ・発展課題に意欲的に取り組んでいるか	○	○	○	6
	Lesson 6 【知識及び技能】 不定詞 【思考力、判断力、表現力等】 買い物会話、旅行先からの手紙 【学びに向かう力、人間性等】 手紙やメールでメッセージを送る	・指導事項 不定詞の使い方 ・教材 教科書、ワークブック ・一人1台端末の活用 等 語句調べ メールの作成	○	○	○	○	○	・不定詞を用いた文を作れるか ・ノートに必要なことが書かれ、よくまとめられているか ・ペアやグループでの活動に積極的に取り組んでいるか ・発展課題に意欲的に取り組んでいるか	○	○	○	7
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson 7 【知識及び技能】 動名詞・分詞 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの試合についての会話 【学びに向かう力、人間性等】 例を挙げる	・指導事項 動名詞と分詞の使い方 ・教材 教科書、ワークブック プリント ・一人1台端末の活用 等 語句調べ	○	○	○	○	○	・動名詞と分詞を使った文を作れるか ・ノートに必要なことが書かれ、よくまとめられているか ・ペアやグループでの活動に積極的に取り組んでいるか ・発展課題に意欲的に取り組んでいるか	○	○	○	7

Lesson 8 【知識及び技能】 比較 【思考力、判断力、表現力等】 紙の本と電子書籍の良さについての会話 【学びに向かう力、人間性等】 相手の意見を受け入れてから、主張する	・指導事項 比較の表現 ・教材 教科書、ワークブック プリント	○	○	○	○	○	・比較の表現を用いた文を作れるか ・ノートに必要なことが書かれ、よくまとめられているか ・ペアやグループでの活動に積極的に取り組んでいるか ・発展課題に意欲的に取り組んでいるか	○	○	○	7
定期考査			○			○		○	○		1

[illegible]

教科・科目		英語コミュニケーションⅡ				単位数		4 単位	
						対象学年		2 学年	
担当者		1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	
		岡城	高橋	岡城	高橋	岡城	高橋	大井	
教科書		My Way							
補助教材		My Way Workbook, Hyper listening							
目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		言語の知識を深め、それをコミュニケーションにおいて適切に活用できる能力を身に付ける。		場面に応じて様々な話題について、外国語で相手の意図を理解したり、表現したり伝え合ったりできる力を養う。			背景文化への理解を深め、相手に配慮しながら外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
科目の目標		英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを理解したり表現したり伝え合ったりする力を養う。			英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	L1 Dances Around the World	知 SVO, SVOO		・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用		知 文法、語彙、表現の理解と活用		〇〇〇	8
		思 世界の様々なダンスとその起源や役割を理解する。				思 本文の内容の理解と表現			
		学 ダンスについて自分の意見を言ったり、書いたりする。				態 主体的にコミュニケーションをとる			
	L2 Katsura Sunshine	知 形式主語、目的語のit		・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用		知 文法、語彙、表現の理解と活用		〇〇〇	8
		思 英語落語への取り組みや工夫について理解する。				思 本文の内容の理解と表現			
		学 日本文化について話したり、書いたりする。				態 主体的にコミュニケーションをとる			
	中間考查						〇〇		1
	L3 Living with Nature	知 現在完了、過去完了		・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用		知 文法、語彙、表現の理解と活用		〇〇〇	15
		思 滝田明日香さんが行う野生動物の保護活動を理解する。				思 本文の内容の理解と表現			
		学 絶滅の危機にある動植物について話したり、書いたりする。				態 主体的にコミュニケーションをとる			
	L4 Sesame Street	知 SVOC、知覚動詞、使役動詞		・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用		知 文法、語彙、表現の理解と活用		〇〇〇	16
		思 セサミストリートに込められたメッセージを理解する。				思 本文の内容の理解と表現			
		学 セサミストリートのキャラクターについて話したり、書いたりする。				態 主体的にコミュニケーションをとる			
	期末考查						〇〇		1

2 学期	L5 From Landmines to Herbs	知 関係代名詞、関係代名詞・関係副詞の非制限的用法	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	12
		思 篠田ちひろさんのカンボジアでの活動について理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
		学 参加したいボランティアについて話したり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる		
	L6 Murals	知 助動詞、助動詞+have+過去分詞、完了不定詞	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	12
		思 世界中の壁画プロジェクトについて理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
		学 校舎の外壁に描きたい絵について話したり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる		
	中間考査				〇〇	1
	L7 "Englishes" in the World	知 分詞構文、受け身・完了形の分詞構文、付帯状況with	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	15
		思 世界のさまざまな英語について理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
		学 英語の学習方法について話したり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる		
	L8 Deepika Kurup	知 仮定法過去・過去完了、ifを使わない仮定法	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	15
		思 世界の水問題とその解決のための取り組みについて理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
		学 特別授業に招きたい科学者や社会起業家について話したり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる		
	期末考査				〇〇	1
3 学期	L9 The World's Poorest President	知 同格のthat、強調構文、倒置、省略	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	17
		思 ホセ・ムヒカさんの幸せに対する考え方について理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
		学 幸せを感じるときについて話したり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる		
	L10 Living in an E-Society	知 議論でよく使う表現を理解する。	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	17
		思 eスポーツや電子書籍の長所と短所を理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
		学 トピックについて賛成、反対の意見を述べたり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる		
	期末考査				〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		外国語 ・ 論理・表現Ⅱ				単位数		2 単位	
						対象学年		2 学年	
担当者		1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	
		岡城	池田	池田	久末	久末	岡城	久末	
教科書		MY WAY Logic and Expression Ⅱ							
補助教材		MY WAY Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK ・ LEAP Basic ・ LEAP Basic 活用ノート 2							
目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		外国語の表現等を理解し、その知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。		外国語で情報や考え、意図を的確に理解し、これらを活用して適切に表現することができる力を養う。			外国語の背景にある文化を理解し、他者へ配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
科目の目標		目標文法を理解するとともに、使用される語彙や語句を理解し、その知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。		英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして自分自身の考えなどを適切に表現する力を養う。			ペアやグループでのやり取りを通して、情報を得たり考えを伝え合う中で、多様な考えを受け入れ、相手に配慮をしながら、受信と発信をして互いを高める姿勢を身に付ける。		
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	Lesson 1 I Love My Country!	知: 目標文法について理解する		現在完了形・過去完了形 未来を表す表現 自分の経験を語る 好きな物や場所について表現する		知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる		〇〇〇	6
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする				思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る			
		学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む				態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む、会話を続けることができる			
	Lesson 2 The New Wave of Sports	知: 目標文法について理解する		助動詞の表現 助動詞＋have＋過去分詞 be動詞＋to不定詞 週末の予定について語る 新しいスポーツの紹介		知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる		〇〇〇	6
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする				思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る			
		学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む				態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む、会話を続けることができる			
	中間考査						〇〇		1
	Lesson 3 The Future of Technology	知: 目標文法について理解する		受動態 不定詞 印象深い授業を語る 贈り物について説明する		知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる		〇〇〇	6
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする				思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る			
		学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む				態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む、会話を続けることができる			
	Lesson 4 Rediscover Kabuki	知: 目標文法について理解する		不定詞 知覚動詞・使役動詞 日本の文化を紹介する		知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる		〇〇〇	6
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする				思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る			
		学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む				態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む、会話を続けることができる			
	期末考査						〇〇		1

2 学期	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI?	知: 目標文法について理解する	動名詞 分詞構文 科学技術を紹介する 社会の状況と職業を語る	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組む ことが出来る	〇〇〇	6
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書 いたりする		思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出 来る		
		学: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組む		態: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組み、会話を続けることが出来る		
	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife	知: 目標文法について理解する	比較 大きさなどを身近なもの に例える 有名な場所を紹介する	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組む ことが出来る	〇〇〇	6
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書 いたりする		思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出 来る		
		学: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組む		態: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組み、会話を続けることが出来る		
	中間考査				〇〇	1
	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars?	知: 目標文法について理解する	関係代名詞・関係副詞 火星について会話する	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組む ことが出来る	〇〇〇	6
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書 いたりする		思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出 来る		
		学: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組む		態: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組み、会話を続けることが出来る		
	Lesson 8 Language and Society	知: 目標文法について理解する	仮定法 多種多様な言語について 語る	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組む ことが出来る	〇〇〇	7
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書 いたりする		思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出 来る		
		学: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組む		態: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組み、会話を続けることが出来る		
	期末考査				〇〇	1
3 学期	Lesson 9 Send Our Love to the World	知: 目標文法について理解する	否定の表現 代名詞を使った表現 SDG s について語る	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組む ことが出来る	〇〇〇	8
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書 いたりする		思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出 来る		
		学: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組む		態: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組み、会話を続けることが出来る		
	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	知: 目標文法について理解する	無生物主語構文 thatを使った表現 関心のある人物を紹介す る	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組む ことが出来る	〇〇〇	8
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書 いたりする		思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出 来る		
		学: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組む		態: ペアワークやグループワークに主体的 に取り組み、会話を続けることが出来る		
	期末考査				〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度